

編集後記

今月号は「地球温暖化対策、環境対策、環境対策工」特集です。

巻頭言は東北大学の中田俊彦教授にお願いしました。「地域社会をデザインするには」と題して、環境エネルギーという観点から地域社会の長期展望、再設計についてご提言いただいています。

行政情報では、オフロード法（排出ガス規制）に関して、特に2014年改正による規制強化内容にポイントを置いた紹介をしています。もう1件の行政情報では、建設副産物のリサイクルや適正処理の中期的な方向性、方策について取りまとめて提言した内容を紹介しています。

特集報文は、地球温暖化対策、環境対策の2部構成です。

地球温暖化対策としては、様々な再生可能エネルギーや新エネルギーの現状と将来の電力のベストミックスの想定や、既存ダムの流量を維持した上での中小水力発電としての利用、再生可能エネルギーとして国内最大規模の太陽光発電所を実現した急速施工方法、再生可能エネルギーとして利用促進が期待される地中熱利用の普及を図るために開発された高効率システム、建設工事におけるCO₂排出削減を目指した100%バイオディーゼル燃料を工事車両に適用した施工、地球温暖化防止と深い関

わりのある森林整備に使われる林業機械を対象としたカーボン・オフセットプログラムについてそれぞれ紹介しています。

環境対策としては、2014年日米欧の次期排出ガス規制に対応したオフロード用最新エンジンを実現した新たな技術や、高出力・高耐久を実現した上で騒音／振動を従来レベルに抑えた油圧ブレーカ、工事によって発生する濁水の低コスト高度化処理方法、同じく工事濁水において排水基準が強化された陰イオン処理に注目した処理方法、都市土木で重要となる防振対策の考え方と対策実例について取り上げました。

交流の広場では、自動車用内燃機関技術の維持・向上策について、産官学が協調して設立した技術研究組合を中心とした示唆に富んだ取り組みを紹介しています。

東日本大震災以降、地球温暖化対策、環境対策、エネルギー対策にはパラダイムシフトというべき変化が訪れましたが、その環境の中でも普遍的に重要な技術や、一方で変化に対応した新しい観点の技術が粘り強く開発され産まれつつあります。

今回掲載した報文が読者の皆様の参考となり、本分野の発展に些少なりと寄与できれば幸いにございます。

最後になりましたが、お忙しい中にも関わらず、快くご寄稿いただきました執筆者や関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。（赤神、太田）

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長

田中 康順	鹿島道路(株)
-------	---------

編集委員

吉田 潔	国土交通省
三浦 弘喜	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
立石 洋二	大成建設(株)
藤内 隆	清水建設(株)
赤井 亮太	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
安川 良博	(株)熊谷組
川西 健之	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
太田 順子	コマツ
大塚 清伸	キャタピラー・ジャパン(株)
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
和田 一知	(株)KCM
江本 平	範多機械(株)
竹本 憲充	施工技術総合研究所

事務局

日本建設機械施工協会

11月号「トンネル特集」予告

- ・超長尺大口径鋼管先受け工法を用いた地すべり区間のトンネル安定化対策工
 - LL-Fp工法の開発と適用
- ・先行天端沈下計測システムの開発と適用一切羽前方地山の不安定化を常時監視
- ・トンネル点検に対する弾性波法非破壊検査技術—打音法、音響探査法の紹介
- ・長大トンネルにおける可燃性ガス対策—東九州道 猪八重トンネル南新設工事
- ・小断面トンネルでの長孔発破による急速施工
 - 東京大学（宇宙線）大型低温重力波望遠鏡施設（掘削その他）工事
- ・トンネル工事における安全の見える化技術の適用
 - マシオンと高速道路の狭間での超近接メカネトンネルの施工
- ・豊実発電所改修工事における放水路トンネルの施工
 - 既設放水路トンネル直下に扁平大断面の新設トンネルを構築
- ・電磁波探査を活用した湧水対策区間の施工
- ・日本最大級の槽設備を使用した大深度立坑の施工
- ・トンネル構内での長距離無線LAN装置
- ・コンパクトなウレタン注入機でトンネル補修
 - アキレス Tn-p 工法（発泡ウレタン裏込注入工法）の紹介

建設機械施工

第66巻第10号（2014年10月号）（通巻776号）

Vol. 66 No. 10 October 2014

2014（平成26）年10月20日印刷

2014（平成26）年10月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 一般社団法人日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501；Fax (03) 3432-0289；<http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話 (0545) 35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2-8

電話 (011) 231-4428

東北支 部 〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1

電話 (022) 222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1

電話 (025) 280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10

電話 (052) 962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4

電話 (06) 6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22

電話 (082) 221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22

電話 (087) 821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30

電話 (092) 436-3322

本誌上への
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL：03-3664-0118 FAX：03-3664-0138

E-mail：san-mich@zam.att.ne.jp 担当：田中